

— あなたと議会のふれあい誌 伊奈町 —

# 議会だより



表紙写真  
大募集中!

詳しくは  
23ページ

— contents —

## 令和8年 3月定例会

- ▶ 議案概要等・審議結果…P2・3・10・11
- ▶ 予算特別委員会…P5～7
- ▶ 常任委員会概要…P8・9
- ▶ 一般質問…P13～20

3月定例会は2月25日から3月18日まで22日間開催されました。町長提出の諮問2件と議案35件、議員提出の埼玉県民活動総合センターの維持発展を求める意見書1件が全て原案可決されました。

# 志久駅エレベータ設置で、町道路線が変更

路線変更に伴い、道路区分、用途、安全面について、複数の議員から質問がありました。

**問** 幅員が1・83mに減少するが、変更後の道路区分は。

**答** 4m未満1・8m以上なので、建築基準法第42条第2項道路に該当する。

**問** 旧路線はどうなるのか。新幹線高架下なので、JRへの売却は検討しているか。

**答** 設置工事中は、工事車両や資材置き場として使用し、終了後については多目的な利用方法を検討し、ふさ

わしい利用方法がない場合は、歩行者専用道路として使用する。JRへの売却は考えていない。

**問** 小室小学校の児童が通学で通るが、安全対策はどうか。

**答** 切替工事を行う中で、まだ気づいていない点もあるかもしれない。随時改善していく。



志久駅エレベーター設置に伴い、町道路線が変更

# 物価高騰支援策決定

お米券ではなく、商品券や水道料金減免など

総額約  
**3億9,500万円**

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した、町民・事業者支援策の※専決処分を承認しました。お米券配布で注目を集めた施策ですが、町では商品券、水道料金減免、小中学校給食費の免除などを実施することになりました。

- 商品券配布、水道基本料金免除
- 3千円の商品券を配布（対象者…令和8年5月1日時点で住民登録のある方）
- 4か月の水道料金基本料金を免除（令和8年6月から9月まで）

## 町民への支援

● 防犯カメラ購入設置費用の一部を補助（5月以降、受付開始予定）

## 小中学生の給食費負担軽減

● 令和8年2・3月分の給食費免除。令和8年度は、町立小学生は給食費と給食無償化基準額の差分について1年間免除。町立中学生は、2・3学期の給食費を免除。県立小中学生は、同額の支援金を支給。

## 事業者への支援

- 4か月分の水道料金基本料金を免除（令和8年6月から9月まで）
- 支援金給付
- 障害福祉事業所等
- 介護事業所等
- 子ども食堂
- 保育所等
- 医療機関等

※専決処分とは………本来は議会の議決が必要な事項を、緊急時などに首長（行政の長）が代わって意思決定し、処理することです。

# ブルガリア カルロヴォ市との相互交流

## 子どもたちの国際化促進と、未来の選択肢の拡大に向けて



バラを縁として、ブルガリアのカルロヴォ市と、友好都市締結に向けた相互交流を行うことになりました。

今後、大島町長がカルロヴォ市を訪問、また、カルロヴォ市長が伊奈町のバラ祭りに参加される予定です。

**問** 国際情勢が緊迫した状況下での渡航は問題ないか。

**答** 外務省や現地大使館と連絡をとり、安全確認を続け、安全が確保できない場合は、再考する。危険なトルコ経由は避け、ヨーロッパ経由で渡航する。

**問** 渡航費用は高くなるのではないか。

**答** 高くなるが、町長指示により、飛行機のクラスを下げ、随行人数を減らすことで極力費用負担を減らす。

### 埼玉県県民活動総合センターの維持発展を求める意見書

伊奈町に所在する埼玉県県民活動総合センターについて、埼玉県公の施設の在り方有識者会議が令和7年3月に、廃止も含めて検討すべきとの報告を行った。

この報告内容に対し、伊奈町議会では同年9月に全議員からの要望書を町長宛てに提出し、町長は同センターの存続を求める町民の声も踏まえ、同年10月に大野知事に対し直接要望書を提出した。また、近隣市議会からも存続・継続を求める意見書が可決・提出されたほか、県議会においても複数の県議会議員から関連する質問が行われている。さらに伊奈町では、有志による署名活動が行われ、伊奈町議会に提出された同センターの存続を求める請願についても、12月定例会において可決したところである。

有識者会議報告に対し、各方面から共通して指摘されているのは、同センターが極めて高い利用実績を有している点である。コロナ禍の影響がなお残る令和5年においても、利用者数は充足当初の約2.8倍となる745,057人に達している。特に体育館については、コロナ禍の最中であった令和4年においても利用率が99パーセントに達していた。伊奈町のみならず、さいたま市、上尾市、蓮田市、桶川市、北本市など、広範な地域から多くの県民が様々な活動目的で利用しており、開設以来の延べ利用者数は1,000万人以上上っている。

同センターは、「組織的活動の促進及び県民一人一人の生涯学習の充実を図る」という設置目的に合致した、県民ニーズに的確に応えてきた施設であり、その機能や役割は、近隣の類似施設によって代替できるものではない。また、県東部から県中央地域にかけた広域的な県民活動の拠点として重要な役割を果たしてきた施設である。とりわけ伊奈町にとっては、町とともに発展してきた歴史を有し、町立施設を補完する機能も担うなど、地域に深く根差した存在となっている。

以上の状況を踏まえ、伊奈町議会は、あらためて次の事項を強く求めるものである。

- 一 埼玉県県民活動総合センターについて、幅広い県民利用者を対象とした意見聴取を実施すること。
- 二 利用者の意見や利用実態を踏まえ、利用区分や運営手法等の見直しを含め、施設の利用方法及び運営等の改善・充実を図ること。
- 三 県民ニーズに応える拠点施設として、埼玉県県民活動総合センターを、さらなるサービス拡充により維持・発展させること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年3月18日

埼玉県伊奈町議会議長 上野 尚徳

〈提出先〉

埼玉県知事 大野元裕 殿

## 県活の維持発展を大野知事に要望

令和7年3月に、埼玉県公の施設の在り方有識者会議が「県民活動総合センターを廃止を含め検討すべき」との報告を行いました。

町議会としては、9月定例会で町に要望書を提出、12月定例会で

は町民からの請願を可決しました。

報告から1年を経た定例会では、埼玉県県民活動総合センターの維持発展を求める意見書を可決し、埼玉県知事に提出しました。

予算特別委員会

委員長あいさつ



委員長 戸張光枝



副委員長 冨井篤弥

この度、令和8年度予算特別委員会委員長を拝命しました。

委員会では、町民の皆様からお預かりした貴重な税金が町政の発展と住民福祉の向上に資するものとなるかとの観点から、各事業の必要性や効果について慎重かつ厳正な審査を行いました。

令和8年度予算には国際化推進事業の拡充やAIオンデマンドバス導入準備、固定資産税課税資料の電子化など新たな取組が盛り込まれています。また乳児等通園支援事業や小中学校体育館空調整備など町民生活と教育環境の向上に資する施策も計上されました。審査の結果、1議案は起立少数で否決、他6議案は原案どおり可決しました。今後も町民の負託に応え、町政の発展と町民福祉の向上に向け不断の努力を重ねてまいります。

施政並びに予算編成方針に対する質疑

町長の施政方針・予算編成方針に対し、1人の議員が質疑を行いました。その内容を質問者がまとめて報告します。

3年間で体育館にエアコン整備、「いなまる」はAIオンデマンドバスへ



日本共産党  
おおの こういち  
大野興一 議員

**問** 持続可能な都市農業の振興は。

**答** 小規模な水田の区画拡大で、水稻農家が使いやすい形で農地を利用できる。労力やコストの軽減、作業の効率化、経営や生産性の向上が必要だ。

**問** この事業に国の支援はあるか。

**答** 財政的な支援はない。

国・県の「ほ場整備事業」を活用できるようにしたい。

**問** 令和8年度から3年間で体育館の空調設備を整備する計画だが、熱中症対策等を考えると短縮できないか。

**答** 令和8年度着手する。整備期間は、各校の施設状況を踏まえ進める。

**問** AIオンデマンドバスの内容は。

**答** 予約により、指定乗降場所まで車両が配車され、AIシステムで最適な経路検索、乗合乗車し、指定乗降場所まで輸送する。

**問** デマンドタクシーとの違いは。

**答** ドア・ツー・ドアではないところだ。



「いなまる」からAIオンデマンドバスへ

副町長人事

秋葉副町長が3月で退職するため、後任に大熊進氏を選任することに同意しました。

〈経歴〉

- 平成10年3月 明治大学商学部卒業
- 平成13年10月 埼玉県庁入庁
- 令和6年4月 埼玉県農林部農業政策課調整幹

新副町長

おおくま すずむ  
大熊 進氏

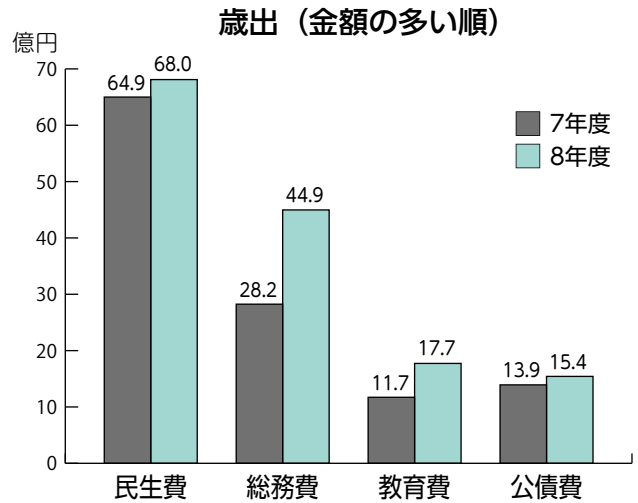
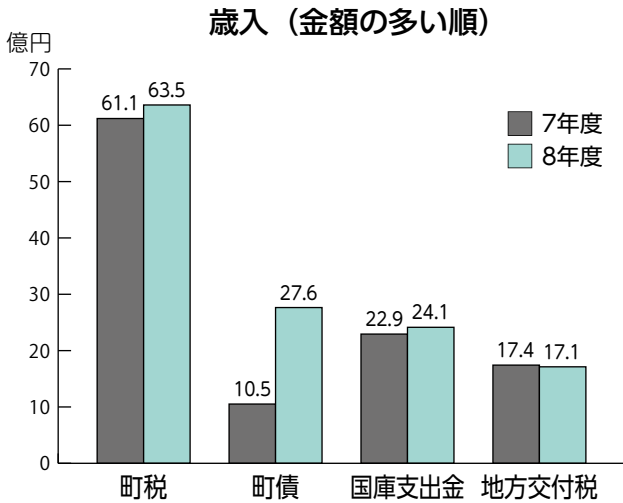


# 令和8年度予算を可決!!

令和8年度一般会計予算  
歳入・歳出 **180億6,000万円**

令和8年度予算は、議長を除く全議員で構成された予算特別委員会(3月2日・3日)で審議され、3月定例会最終日の本会議において採決し、全て原案通り可決しました。

## 前年度対比



## 令和8年度の新たな事業、主な事業

- ・ 役場新庁舎整備事業(～令和10年度)
- ・ 町立小中学校体育館空調整備(～令和10年度)
- ・ 志久駅エレベーター工事(～令和9年度)
- ・ AIオンデマンドバス(令和9年度開始予定)
- ・ 小中学校の全タブレット端末更新
- ・ こども誰でも通園制度
- ・ 病児・緊急対応ファミリーサポート事業
- ・ リチウムイオン電池・充電式小型家電の分別回収
- ・ 新公共施設予約システム
- ・ ブルガリア共和国カルロヴォ市との国際交流

### 一般会計

### 歳入

**問** 町税について、税制改正の影響を受ける具体的な項目は何か。  
**答** 令和7年度の調定ベースで試算すると、主なものとして給与所得控除等の見直しで約1400万円の減、大学生年代の控除額拡大で約230万円の減、非課税ラインの引き上げで約310万円の減を見込んでいます。

**問** 地方債について、令和8年度の借入利率の見込みはどの程度か。  
**答** 金融機関等へのヒアリングを踏まえ、新規借入れ分の利率は2.2%と見込んでいます。

**問** 役場庁舎建設事業の具体的な償還計画と、公債費への影響は。  
**答** 起債総額は57億3020万円を見込んでおり、交付税措置はな

い。借入れは銀行75%、埼玉県25%で、銀行分は利率2.2%・30年償還、県分は17年償還である。償還は銀行分が令和9年度から令和38年度まで、県分が令和9年度から令和25年度まで行われる。据置終了後に元金・利子の同時償還が発生する令和10年度以降、年間約1億5000万円程度の公債費増が見込まれる。

### 歳出

**問** 集会所整備事業の内訳は、大針区の建替え補助1250万円、集会所5か所の修繕補助205万円、集会所4か所の備品購入補助105万円である。  
**問** 国際化推進事業の増額内容と、交流の目的や日程は。

**総務費**  
**問** 集会所整備事業の内訳は、大針区の建替え補助1250万円、集会所5か所の修繕補助205万円、集会所4か所の備品購入補助105万円である。  
**問** 国際化推進事業の増額内容と、交流の目的や日程は。

**答** カルロヴォ市のバラ祭りへの参加旅費や、同市長等の招待経費を見込み増額した。同市の視察は5月28日から6月1日の日程を予定しており、文化交流のほか産業面での連携も視野に入れている。5月9日の伊奈町バラまつりにて友好都市協定を締結する予定である。



両市町のシンボル

**問** 町内循環バス運行管理事業約3750万円について、現行契約が11月で終了する中で、の予算使途は。  
**答** 現行の町内循環バ



伊奈町公開型GIS

ス「いなまる」は令和8年11月1日までの契約だが、AIオンデマンドバスへの予約方法変更について利用者への周知期間を確保するため、令和8年度末まで運行を継続する。  
**問** DX推進事業での具体的な新規項目は。  
**答** 令和8年度の新規項目として、公開型GISデータの拡充を予定している。具体的には、AEDや避難場所の情報を載せた安全・安心マップ、および街路灯・防犯灯マップの追加を検討している。

民生費

**問** 総合センター整備事業の予算内訳はどうなっているか。  
**答** 大ホール舞台の綴帳巻上機等の更新工事に841万円、3階女子トイレの洋式化工事に312万円、LED化工事に1980万円を計上している。

**問** ふれあい福祉センター指定管理事業が約1300万円増額となっている理由は。  
**答** 主な要因は、従事職員の昇給・昇格による人件費増のほか、障害福祉事業所「まっぼっくり」の送迎バス更新、心身障害児施設「いちご」の備品購入等の計上によるもの。

**問** 病児緊急対応ファミリーサポート事業の対象範囲や、発熱・感染症時の受け入れ基準は。  
**答** 新生児から小学6

年生までが対象で、年末年始を除き土日祝日や宿泊を含む24時間対応も可能。ただし、呼吸困難や脱水症状がある場合、重症化の恐れがある感染症の場合等は、マニュアルに基づき受入不可となる。  
**問** 乳児等通園支援事業の利用者想定と運営体制は。  
**答** 1人1日1時間利用の想定で年間2214人の利用を見込んでいる。現場責任者は子育て支援センター所長が務め、北保育所長がこれを兼務する。

衛生費

**問** ふれあい収集の見直しに伴う増額内容は。  
**答** 業務量増加に伴い、町職員による実施から外部委託へ切り替えるため。

**問** 焼却施設の廃棄物運搬処分業務委託料4100万円の委託先と

搬出量は。

**答** 青森県三戸町や秋田県小坂町など4か所の埋立処分先へ計900トン搬出するほか、寄居町ヘリサイクル処理として130トンを搬出する。単価は1トン当たり税別で3万3000円から5万4500円である。

農林水産業費

**問** 農地集約支援事業における、ほ場拡大工事の対象と町負担の理由は。  
**答** 小針新宿および小針内宿地区の一般農地を対象に、将来的な国・県の事業活用を見据え、当面は町単独事業として4か所のあぜ撤去や整地を行う。

土木費

イベント興行中止保険料(65万円)、人事院勧告に伴う定期昇給分(約175万円増)などである。  
**問** そのイベント興行中止保険の補償内容は。  
**答** 伊奈まつりが荒天等で中止になった際の諸費用を補填するもの。対象経費約965万円の70%(約675万円)を補償限度とする見込みである。

**問** 町道改修事業の減額理由と騒音対策は。  
**答** 側溝修繕の箇所がないため工費は減額となった。騒音や振動への対策については、舗装修繕費4500万円の中で優先順位をつけ対応していく。

商工費

**問** 観光協会補助金の増額の内訳は。  
**答** 伊奈まつりの花火費用高騰(67万円増)、

空き家対策事業でのマッチングの現状は。  
**答** 空き家バンクは利用希望が20件ある一方、貸したい側の登録

が0件というミスマツチが続いている。背景には民間業者による空き家ビジネスの活発化も影響している。

**問** 丸山排水路整備の具体的な内容と理由は。

**答** 県の指摘による調査の結果、管路の損傷が確認されたため、県道占用部分（丸山駅車両基地付近）の延長8メートルの布設替えを行うもの。

**問** 排水路維持管理事業では、どの程度の清掃を行うのか。

**答** 935万円の予算により、約2800メートルの側溝清掃等を実施する予定である。

**問** 町内住宅の耐震化率の現状と、補助制度見直しの考えは。

**答** 令和7年度の耐震化率は84・97%であり、主に建て替えにより向上している。補助額（上限50万円）については国・県の動向を踏ま

え検討する。

**問** 道路GIS等による道路不具合の通報状況はどうか。

**答** 令和8年2月19日時点で、通報システム13件、LINEアプリ42件、町メール47件の報告を受け付けている。

**消防費**

**問** 北部新設消防署候補地の選定状況と用地取得の見込みは。

**答** 候補地は決定しているが、地権者と交渉のため詳細は非公表。令和9年度に用地鑑定を実施する予定である。

**問** 消火栓設置事業が減額の理由は。

**答** 令和8年度は当該工事本数が少ないため減額となった。

**教育費**

**問** 小中学校の体育館エアコン設置に関するスケジュールは。

**答** 町内7校を2グ

ループに分ける。令和8年度に4校（小針小、小室小、南中、伊奈中）の設計を行い、令和9年度から順次工事と残り3校の設計を進め、令和10年度に全7校完了を目指す。財源は国の交付金を活用する。



伊奈中学校体育館

**問** 小中学校のICT端末更新の内容と費用は。

**答** 導入から5年が経過した端末約4000台を更新する。1台当たり約6万3000円程度を見込んでいます。校内教育支援セン

ターの設置状況、不登校児童生徒への効果は。

**答** 不登校者数は令和7年12月時点で小学校19名、中学校82名。センターの利用により教室復帰につながった事例もあり、個々の要因に合わせた継続的な支援を行っている。

**問** 小学校児童援助奨励事業が約700万円増額した理由は。

**答** 主な要因は国基準の改定によるもので、小学校の学用品費が1万1630円から3万2490円に増額されるなどの影響である。

**国民健康保険特別会計**

**問** 令和8年度における被保険者1人当たりの年間保険料は。

**答** 1人当たりの年間保険料は医療分・介護分・後期分を合わせ13万6275円、子ども・子育て支援納付金を含めると1人当たり年間

13万9763円の見込みである。

**問** 賦課徴収事務費が前年度比で2倍以上となった理由は。

**答** 子ども・子育て支援金制度の新設に伴うシステム改修費約500万円が主因である。

※予算委員会では国民健康保険特別会計予算案は否決となった。

**介護保険特別会計**

**問** 保険給付費（居宅・施設）の増額根拠と上昇率は。

**答** 過去3か年の上昇率（約104%）を参考に算定。令和8年度は約29億4452万円を見込んでいます。

**水道事業会計**

**問** 下半期からの水道料金15%値上げの理由は。

**答** 県水料金の21%の値上げ等がある。物価高騰等が主因だ。

**問** 水道管耐震化の令和8年度の目標は。

**答** 導水管の布設替え等を予定しており、耐震適合率は配水管で65・8%、導水管で23・3%まで向上する見込みだ。

**公共下水道事業会計**

**問** 「無形固定資産1億円」の内容は。

**答** 流域市町が建設負担金を拠出する埼玉県中川流域下水道の施設利用権である。



予算委員会の様子

委員会での質疑と答弁の一部を要約しました。

町長提出議案8件が審議されました。(3月5日開催)

所管事項

町民の諸証明、国民健康保険、介護保険、医療、予防接種、各種検診、社会福祉、児童福祉、母子福祉、保育、子育て支援、人権、環境衛生、学校教育、社会教育、生涯学習、学校給食関係

文教民生

クリーンセンター省エネ機器へ更新した結果、電気料抑えられる  
～当初予算から1,600万円減額～



新たなごみ処理施設完成予定の令和15年まで維持させるために、3ヶ年計画で行われた町クリーンセンターの基幹的設備改良事業(7億4,378万円)

●クリーンセンター運営事業

問 光熱水費1600万円の減額補正は省エネ努力の成果によるものか。

答 焼却施設の基幹的設備改良工事により省エネ機器へ更新した結果、電気料が抑えられ、予算を下回ったためだ。

●北保育所給食調理業務委託料の減額補正

問 714万6000円の減額理由は。

答 給食業務実績のある5者から見積りをとり、最低額と最高額を除いた3者の平均額を参考に、1億8025万7000円を設定したが入札の結果、不用額が出たため。

問 減額によって実際の食事内容に影響はないか。

答 食材費は各者同額で指定しており、入札で差が出るのは人件費や消耗品費であること、

食材費については価格高騰も考慮して増額しており、食事への影響はない。

●産後ケア施設改修費等補助金

問 改修内容は。

答 町内に宿泊機能を伴う助産院が開業したことからの、国の補助金を活用して、その改装費に対し補助を行うものである。

●各種予防接種事業

問 個別予防接種委託料2057万5000円の減額理由は。

答 主な要因は高齢者を中心としたコロナ定期予防接種であり、対象者約1万1000人のうち1900人程度の接種を見込んでいたが、実際は440人とどまり、見込みを下回ったため減額した。

●伊奈町国民健康保険条例の一部を改正する条例

問 税率を引き上げない選択をした場合、どのように対応するのか。

答 加入者は減少する一方、1人当たり医療費は上昇しており、税率を上げなければ税収不足となる。その場合、県の財政安定化基金から借入れを行い、翌々年度に上乗せ返済することになる。結果、伊奈町だけ税率が高くなる可能性があり、また県のインセンティブも受けられず、加入者に不利益が生じる。

問 子ども・子育て支援納付金を国民健康保険税で徴収するメリットは何か。

答 公的医療保険の徴収ルートを活用することで制度構築コストを抑えられること、社会全体で支えることで現役世代の負担軽減につながることで、少子化対策の財源確保が国民皆保険制度の維持にも資することの3点だ。

総務 建設 産業

町長提出議案11件が審議されました。(3月6日開催)

所管事項

一般会計の歳入全般、行政施策の総合企画調整、行財政運営、情報公開、職員、交通安全、防犯、防災、町税の賦課徴収、住民相談、消防、救急、農業、商工業、区画整理、道路河川、公共下水道、水道事業、建築関係

# 水道・下水道料金改定を審査

## ～物価高や人口減少を踏まえた料金見直しと事業の課題～



生活基盤を支える伊奈町上下水道課

●令和7年度一般会計補正予算

○ 消防広域化運用事業5142万円について繰越となった理由は、

○ 上平分署、原市分署、東分署の消防ポンプ車の年度内納入が困難となったこと、東消防署の空調設備工事が、試運転の時に不具合が発生したことによる。

●令和7年度伊奈町公共下水道事業会計補正

予算

○ 工事請負費1100万円の減額は、

○ 汚水第1号幹線工事の入札不調により、不用額が生じたものだ。

●伊奈町水道事業給水条例の一部を改正する条例

○ 一般家庭は、従量単価を引き下げ、基本料金を引き上げる。また、事業者系では基本料金の大幅増額する改定の根拠は、

○ 町内水道配水量8割以上を占める県営水道料金が、令和8年4月から21%の値上げとなるのが最大の要因である。さらに物価・人件費上昇、節水器による水量減少、給水人口減少、少人数世帯増加による少量使用者増加など水道料金収入の減少要因だ。

○ 口径20ミリの超過水量が減額になっている措置については、

○ 料金改定率15%を採用することが、ファミリー層の伸び率を抑えることに繋がった。

●伊奈町下水道条例の一部を改正する条例

○ 水道と下水道の料金アップは、家計への影響は大きいですが、基本使用料10立方メートルまでの800円から1117円の値上げ算定根拠は、

○ 改定率は、基準外繰入金をゼロにするこ



町道第3184号線町道変更に伴う現地視察

とを目標とし、審議会に改定率7・9%、12・6%、15・0%の3案を提示。7・9%では算定期間最終年度に赤字が生じ、15・0%では一定の資金積み上げが可能。12・6%は算定期間を通じて基準外繰入金に頼らず収支不足を賄える水準であることから、この案が採用された。料金体系については、全体一律改定、基本料金のみ改定、基本水量の廃止の三案が示され、安定した収入確保が見込める基本料金のみを改定する案が選定された。

○ この結果、3人・4人世帯のファミリー層の伸び率が低いものとなった。

# 〈3月定例会〉 議案一覧及び審議結果

議案番号等	議案名等と主な内容	審議結果
人事	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて ・人権擁護委員の本多昇氏の任期が令和8年6月30日で満了となるため、引き続き同氏を推薦することについて意見を求める。	全会一致 適任
	諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて ・人権擁護委員の大熊康雄氏の任期が令和8年6月30日で満了となるため、後任として稲橋きよみ氏を推薦することについて意見を求める。	全会一致 適任
	第1号議案 伊奈町固定資産評価審査委員会の委員の選任について ・委員の三日尻憲一氏の任期が令和8年3月31日で満了となるため、同氏を再選任することについて同意を求める。	全会一致 同意
	第2号議案 伊奈町固定資産評価審査委員会の委員の選任について ・委員の大塚哲章氏の任期が令和8年3月31日で満了となるため、同氏を再選任することについて同意を求める。	全会一致 同意
	第3号議案 伊奈町固定資産評価審査委員会の委員の選任について ・委員の波多野修一氏の任期が令和8年3月31日で満了となるため、同氏を再選任することについて同意を求める。	全会一致 同意
専決	第4号議案 専決処分の承認を求めることについて（令和7年度伊奈町一般会計補正予算（第10号）） ・歳入歳出各2,024万6千円を追加し、補正後総額を160億166万8千円とする。衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査実施の経費。	全会一致 承認
	第5号議案 専決処分の承認を求めることについて（令和7年度伊奈町一般会計補正予算（第11号）） ・歳入歳出各5億4,620万3千円を追加し、補正後総額を165億4,787万1千円とする。エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への支援策実施の経費。	全会一致 承認
	第6号議案 専決処分の承認を求めることについて（令和7年度伊奈町水道事業会計補正予算（第3号）） ・水道事業収益は、営業外収益を60万円増額し11億2,031万1千円とし、水道事業費用は、営業費用を66万円増額し10億7,225万1千円とする。物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への支援策実施の経費。	全会一致 承認
町長提出 補正予算	第7号議案 令和7年度伊奈町一般会計補正予算（第12号） ・消防緊急車両整備事業の繰越明許費の追加。	全会一致 原案可決
	第8号議案 令和7年度伊奈町一般会計補正予算（第13号） ・歳入歳出各1億597万4千円を追加し、補正後総額を166億5,384万5千円とする。歳入では、町民税及び固定資産税の歳入見込みの増額、普通交付税の追加交付、歳出の追加、確定等に伴う国・県補助金の増額及び減額、寄附金の増額、繰入金増額及び減額、諸収入の増額、歳出の確定に伴う町債の減額。歳出では、減債基金積立金の増額、防災事業の減額、障害者自立支援サービス支給事業等、国民健康保険特別会計繰出金及び介護保険特別会計繰出金の増額、後期高齢者医療特別会計繰出金の減額、特定教育・保育施設運営事業及び私立保育園運営事業の増額、北保育所運営事業の減額、母子保健健康指導相談事業の増額、各種予防接種実施事業の減額、上尾伊奈斎場つつじ苑管理運営事業の増額、グリーンセンター運営事業の減額、農業委員会運営事業及び観光振興事業の増額、消防緊急車両整備事業の減額。	全会一致 原案可決
	第9号議案 令和7年度伊奈町国民健康保険特別会計補正予算（第4号） ・歳入歳出各51万1千円を追加し、補正後総額を34億9,673万2千円とする。歳入では、保険税軽減分の確定に伴う保険基盤安定繰入金増額の増額、歳出では、繰入金補正に伴う財源内訳の変更及び保健事業費の減額、過年度の保険給付費交付金等の精算に伴う国県への返還金の増額、予備費の減額。	全会一致 原案可決
	第10号議案 令和7年度伊奈町中部特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号） ・歳入歳出各460万6千円を減額し、補正後総額を各1,422万2千円とする。歳入では、伊奈町中部特定土地区画整理事業徴収清算金の消滅時効に伴う減額。	全会一致 原案可決
	第11号議案 令和7年度伊奈町介護保険特別会計補正予算（第5号） ・歳入歳出各1,337万1千円を追加し、補正後総額を34億1,414万1千円とする。歳入では、地域支援事業交付金、保険者機能強化推進交付金、介護保険保険者努力支援交付金、介護保険事業費補助金、社会保険診療報酬支払基金交付金、介護予防・生活支援サービス費及び繰入金増額の増額、歳出では、介護保険システム改修費、配食サービス事業、介護予防・生活支援サービス費、介護保険給付費等準備基金積立金及び一般会計繰出金の増額。	全会一致 原案可決
	第12号議案 令和7年度伊奈町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） ・歳入歳出各839万4千円を減額し、補正後総額を7億1,100万7千円とする。令和7年度保険基盤安定繰入金増額の確定に伴う、歳入の一般会計繰入金増額の減額、歳出の後期高齢者医療広域連合納付金の減額。	全会一致 原案可決
	第13号議案 令和7年度伊奈町公共下水道事業会計補正予算（第3号） ・下水道事業費用は、営業外費用を584万7千円増額し8億9,835万4千円とし、資本的支出は、建設改良費を1,185万8千円減額し、5億6,565万1千円とする。	全会一致 原案可決
	第14号議案 令和8年度伊奈町一般会計予算 ・予算の総額を歳入歳出各180億6,000万円とする。	全会一致 原案可決
	第15号議案 令和8年度伊奈町国民健康保険特別会計予算 ・予算の総額を歳入歳出各33億6,642万1千円とする。	賛成多数(注) 原案可決
	第16号議案 令和8年度伊奈町中部特定土地区画整理事業特別会計予算 ・予算の総額を歳入歳出各1,188万7千円とする。	全会一致 原案可決
予算	第17号議案 令和8年度伊奈町介護保険特別会計予算 ・予算の総額を歳入歳出各33億6,806万2千円とする。	全会一致 原案可決
	第18号議案 令和8年度伊奈町後期高齢者医療特別会計予算 ・予算の総額を歳入歳出各7億8,224万4千円とする。	全会一致 原案可決
	第19号議案 令和8年度伊奈町水道事業会計予算 ・収益的収入は、11億7,603万1千円、支出は、11億3,191万5千円とする。資本的収入は、1億7,583万6千円とし、支出は、7億6,715万9千円とする。	賛成多数(注) 原案可決
	第20号議案 令和8年度伊奈町公共下水道事業会計予算 ・収益的収入は、10億4,130万7千円、支出は、9億6,625万3千円とする。資本的収入は、8億3,613万8千円とし、支出は、9億5,584万7千円とする。	全会一致 原案可決

議案番号等		議案名等と主な内容	審議結果	
町長提出	第21号 議案	<b>伊奈町印鑑条例の一部を改正する条例</b> ・電気通信事業法の一部改正により、本条例中の引用条文の条ずれが生じた。	全会一致	原案可決
	第22号 議案	<b>伊奈町認可地縁団体印鑑条例</b> ・行政区が地方自治法に基づく町長の認可を受けた認可地縁団体となった場合に認可地縁団体に係る印鑑登録及び証明ができるようにする。	全会一致	原案可決
	第23号 議案	<b>伊奈町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例</b> ・人事院及び埼玉県人事委員会の勧告等に基づき、通勤手当の自動車等で通勤する場合の距離区分等を改定する。	全会一致	原案可決
	第24号 議案	<b>伊奈町国民健康保険条例の一部を改正する条例</b> ・国民健康保険事業の健全な運営を図るため、所得割額及び被保険者均等割額の見直し並びに子ども・子育て支援金制度創設に伴う賦課に関する規定を整備する。	賛成多数(注)	原案可決
	第25号 議案	<b>伊奈町コミュニティセンター条例の一部を改正する条例</b> ・コミュニティセンターの利用料金の特例期間を令和8年度から令和12年度の5年間も引き続き適用する。	全会一致	原案可決
	第26号 議案	<b>伊奈町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例</b> ・乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の改正。	賛成多数(注)	原案可決
	第27号 議案	<b>伊奈町介護保険条例の一部を改正する条例</b> ・介護保険法施行令の改正により、令和8年度の保険料率の算定に関する所得の額の算定方法の特例について定める。	全会一致	原案可決
	第28号 議案	<b>伊奈町水道事業給水条例の一部を改正する条例</b> ・水道事業の健全化を図り、持続可能で安定的な事業サービスを提供していくため水道料金を改定する。令和8年10月1日施行。	賛成多数(注)	原案可決
	第29号 議案	<b>伊奈町下水道条例の一部を改正する条例</b> ・下水道事業の健全化を図り、持続可能で安定的な事業サービスを提供していくため下水道使用料を改定する。令和9年4月1日施行。	賛成多数(注)	原案可決
	契約	第30号 議案 <b>事業契約の一部変更について（伊奈町役場新庁舎整備事業）</b> ・契約締結後における賃金及び物価の変動に基づき請負代金の変更が生じたことから、契約額を60億9,471万5千円から63億7,171万円に変更する。	全会一致	原案可決
	変更	第31号 議案 <b>町道路線の変更について（起点変更）</b> ・町道第3184号線の起点・終点を伊奈町大字小室字西浦4912番2地先・伊奈町大字小室字西浦4961番1地先から伊奈町大字小室字西浦4929番10地先・伊奈町大字小室字西浦4961番1地先に、道路幅員を1.83m～15.78mから1.83mに、道路延長を144.5mから70.82mに変更する。	全会一致	原案可決
	財産	第32号 議案 <b>財産の取得の一部変更について（消防ポンプ自動車（CD-1型））</b> ・令和8年5月からのサイバーセキュリティシステム等への対応義務化に伴い、予定していた納入期限内での納車が困難になったことから納入期限を変更する。	全会一致	原案可決
	人事	第33号 議案 <b>副町長の選任について</b> ・副町長の秋葉宏和氏が、令和8年3月31日付で退職するため、後任として大熊進氏を選任することについて同意を求める。	全会一致	同意
	補正予算	第34号 議案 <b>令和7年度伊奈町一般会計補正予算（第14号）</b> ・歳入歳出各223万3千円を追加し、補正後総額166億5,607万8千円とする。ブルガリア交流関連事業を増額し、翌年度へ繰り越す。	全会一致	原案可決
第35号 議案 <b>令和8年度伊奈町一般会計補正予算（第1号）</b> ・歳入歳出各178万3千円を減額し、補正後総額180億5,821万7千円とする。ブルガリア交流関連事業の減額。		全会一致	原案可決	
議員提出	議第1号 議案 <b>埼玉県民活動総合センターの維持発展を求める意見書</b> ・埼玉県民活動総合センターについて埼玉県知事に対し、県民利用者への意見聴取、施設利用方法及び運営等の改善・充実、さらなるサービスの拡充による維持・発展を求める。	賛成多数(注)	原案可決	

(注) 全会一致でないものは下表のとおり。全会一致のものは議員ごとの賛否の表示は省略します。

### 賛否がわかれた議案の審議結果

○…賛成 ●…反対

議案名	議員名	議員名														結果		
		富井篤弥	仲島雄大	川内雅人	木俣美千代	武藤倫雄	高橋まゆみ	山野智彦	大野興一	栗原恵子	戸張光枝	藤原義春	五味雅美	上野尚徳	大沢淳		佐藤弘一	青木久男
第15号 議案	令和8年度伊奈町国民健康保険特別会計予算	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	—	●	○	○	原案可決
第19号 議案	令和8年度伊奈町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第24号 議案	伊奈町国民健康保険条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第26号 議案	伊奈町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第28号 議案	伊奈町水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第29号 議案	伊奈町下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第1号 議案	埼玉県民活動総合センターの維持発展を求める意見書	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

(注) 議長「—」は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。

# 討論

～3月定例会では、6議案について討論がありました～

**反対討論**

大沢 淳

**第15号議案**

国の仕組みにより保険税を県内で同じ水準に近づける動きが進み、値上げが続いている。国保は低所得層が多く、負担増は生活を直撃する。町独自の減免制度を活用し負担軽減を図るべきである。

**第24号議案**

医療保険料に上乗せして集める子ども・子育て支援金の導入に反対である。少子化対策の費用を医療保険で集める仕組みで、結果として国保税の値上げにつながる。子育て支援は本来、国の責任で税金により行うべきだ。

**第26号議案**

子育て家庭を支える制度の趣旨は理解するが、誰でも通園制度そのものには課題がある。深刻な保育士不足の中での導入は現場の負担をさらに増やす。乳児の命と安全を守るため、町独自の上乘せ基準を設けるべきである。

**反対討論**

富井 篤弥

**第15・24号議案**

物価高騰が続く、賃上げも追いつかない中で国民健康保険税を引き上げるとは、国保加入世帯の生活をさらに圧迫し、家計状況を悪化させる恐れがある。

また、現行制度のままでは令和9年度の保険料率準統一後の将来も保険税負担が増すリスクは拭えず、安心して生活や将来への希望を国保加入者が持ちにくい状況となっている。以上より2議案に反対する。町も国民健康保険制度の抜本改革を県や政府に対し強く求めて頂きたい。

**賛成討論**

仲島 雄大

**第15・24号議案**

国民健康保険制度の持続性確保と加入者負担への配慮の両立を重視し、令和8年度予算及び条例改正に賛成。制度改正に伴う税負担の見直しと財政基盤の整備に加え、特定健診や重症化予防の充実により医療費の適正化

を図る点を評価。低所得者への軽減措置も維持されており、将来世代への負担先送り避けるための現実的かつ責任ある判断とした。

**反対討論**

五味 雅美

**第19号議案**

水道料金を値上げする予算であり、物価高騰の中で家計を圧迫する。水は生きていくのに欠かせないもの。清浄・豊富・低廉であることが法で求められている。企業会計や、受益者負担の考えを持ち込むべきではない。

**第28号議案**

給水量減少という値上げ理由は、利用者に値上対策の節水を促し需要減少になる。県水値上げは県の失策もあり負担転嫁は筋違い。全ての費用を受益者負担にして水道料金で賄うというのは、憲法や水道法に反する。

**第29号議案**

下水は給水と一体のもの。憲法は国に公衆衛生の向上・増進を義務

を付けている。受益者負担の考えを踏込むのはやめるべき。下水道処理区域外との公平性は等しく負担軽減を図ることで進めるべきだ。

**賛成討論**

富井 篤弥

**第19・28・29号議案**

水道料金値上げは町民の負担増となるため大変心苦しいが、将来にわたって公営水道を維持していくには今後も安定した事業運営が不可欠である。

今回の料金改定は、公共上水道を持続可能な形で維持し、安心安全な水を安定して町民に供給していくこと、また公共下水道についても町の衛生と安全を守り続けていくために必要な見直しと捉えている。

以上から3議案に賛成する。併せて、水道は社会的共通資本であることを踏まえ、今後、水道民営化といった誤った選択をしないよう町に要望した。町は、町民生活を守るために今後も公営水道事業を

堅持し、持続可能な運営に努めて頂きたい。

**賛成討論**

山野 智彦

**第19・28号議案**

水道事業は開始後51年が経過した。近年は老朽化による漏水や事故、自然災害リスクの高まりがあり、計画的対策を行う必要がある。対して町の配水量の84%を占める県営水道が令和8年4月より「21%」値上がりする。

改定後の料金は近隣自治体と比較して中位であり、資金運用の改善も行ってはいるが、安定した事業運営のためには、水道料金の改定は止むを得ないと考える。

**第29号議案**

令和7年度からの流域下水道維持管理負担金「7・5%」値上げ、維持コストの上昇、収入減少の見込み等があり、現状では年度純損失増加が見込まれる。事業維持には料金改定は止むを得ない。

そこが聞きたい



14人が登壇

議員が町政全般または特定の事項について、町の見解を問<sup>ただ</sup>い質します。3月定例会では、14人の議員が質問しました。下記は本会議での質問事項を掲載しています。14ページから20ページには、主な質疑応答を質問した議員が要約して掲載します。  
 なお、会議中の発言と答弁の詳細は、図書館にある会議録および、伊奈町議会ホームページの会議録や録画でご覧になれます。

ページ	質問議員	質問事項
14	仲島雄大	<ul style="list-style-type: none"> <li>●共同親権制度導入に伴う子供の利益を守る体制整備について</li> <li>●リチウムイオン電池に起因する火災防止と適正処理体制について</li> </ul>
14	高橋まゆみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●投票制度について</li> <li>●災害時、早期に住民が安心できる環境の整備と維持について</li> </ul>
15	五味雅美	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自治体情報システム標準化で町の独自施策を損なわないように</li> <li>●DXの推進は町民の立場に立って</li> <li>●中小企業、小規模事業者の賃上げ支援を</li> </ul>
15	大沢 淳	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障害のある子どもの「18歳の壁」への対応と、家族の就労継続を支える支援体制について</li> <li>●聴覚障害者の情報保障と手話通訳者派遣の上尾・伊奈広域化に向けて</li> </ul>
16	大野興一	<ul style="list-style-type: none"> <li>●栄六丁目北側田んぼの大規模埋め立てについて</li> <li>●訪問介護事業者の現状は</li> <li>●教員の休職の現状は</li> </ul>
16	富井篤弥	<ul style="list-style-type: none"> <li>●0～2歳児の保育料無償化を</li> <li>●気候変動の時代でも町民を守る避難所体制を</li> <li>●町の特定技能制度に関する取組について</li> </ul>
17	川内雅人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農業の維持のために</li> <li>●ゴミの3Rとゴミ処理について</li> </ul>
17	栗原恵子	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国際交流について</li> <li>●県民活動総合センターの活用について</li> <li>●AYA世代在宅ターミナルケア支援の予算化について</li> </ul>
18	戸張光枝	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乳幼児体動モニター（呼吸センサー）の活用と購入支援を</li> <li>●保育士・保健師の人材流出防止と処遇改善による職場定着の推進を</li> <li>●自転車への交通反則通告制度（青切符）の導入を踏まえた障害特性に配慮した交通安全対策の推進を</li> </ul>
18	山野智彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども・子育て支援金制度による公的医療保険料負担増について</li> <li>●町内の買い物環境の向上を</li> <li>●脱炭素対策事業の問題点について</li> </ul>
19	武藤倫雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共施設整備計画に伴う財政負担について</li> <li>●農地法第4条・第5条の転用許可について</li> <li>●町内の墓地管理と埋葬について</li> </ul>
19	青木久男	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災対策について</li> </ul>
20	木俣美千代	<ul style="list-style-type: none"> <li>●不登校児童生徒の健康支援を</li> <li>●高次脳機能障害者支援法の成立を踏まえた町の支援体制について</li> <li>●介護業界の人手不足解消へ</li> </ul>
20	藤原義春	<ul style="list-style-type: none"> <li>●伊奈町の防犯体制と交通事故対策について</li> <li>●伊奈町立中学校の英語教育について</li> </ul>

# リチウムイオン電池に起因する、 火災防止と適正処理体制について



日本維新の会  
なかじま ゆうた  
**仲島雄大** 議員

**問** リチウムイオン電池火災リスクや適正な取扱方法について、町民の理解度や安全意識の現状は。

**答** 回収量が増加していることから認知度も上がっているが、町民に十分に理解が行き渡っていないとはいえず、周知方法や内容について工夫が必要であると認識している。

**問** 安全意識醸成の観点から学校教育や社会教育において、リチウムイオン電池を含む身近な危険物に関する、

**答** 学校教育において、発達の段階に応じ、留意点や異常時の適切な行動について取り上げていくことには意義がある。安全教育は、学校のみならず家庭での理解も重要であり、基本的な取扱い等に関する情報について、関係部署と情報共有を図り、適切な周知の在り方を検討する。

**問** 投票時の本人確認はどうしているか。

**答** 期日前投票では、入場券の裏面、不所持の方は宣誓書兼請求書に必要事項を記入してもらい、係が操作するパソコンに登録されてある選挙人名簿と照合

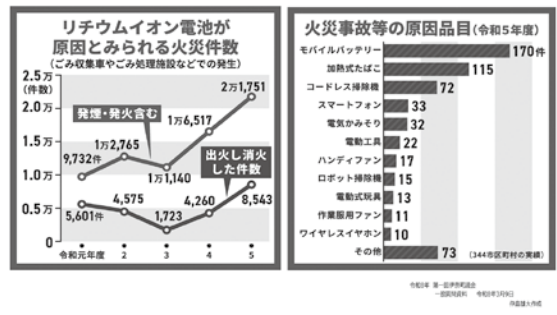
**問** トイレの調達等に関する民間事業者との連携はどうか。

**答** 3社と協定を締結。優先的に調達が可能な体制となっている。

**問** 平常時のごみの出し方が、災害時に避難所の衛生環境にも影響する。更なる分別と減量の協力に町の施策は、

**答** 環境意識の向上を図るべく「広報いな」や、ごみ分別アプリ等が多くの方の目に留まるように工夫していく。

リチウムイオン電池、誤った捨て方で火災に！  
ごみ処理時の火災事故が増加  
出典：環境省「一般廃棄物処理実態調査（令和5年度実績）」から政府広報室作成



リチウムイオン電池の誤った捨て方で火災に

**問** 消防の専門的知見を、回収、保管、訓練計画、住民周知などに反映しているかを伺う。

**答** 新たに策定する火災対応マニュアルを基に、消防の専門的知見を取り入れた訓練や住民周知に取り組んでいく。

選挙	選挙権
衆議院議員・最高裁判所裁判官国民審査 参議院議員	日本国民で年齢満18歳以上の者 ※18年目の誕生日の前日の午前0時から満18歳とされる
埼玉県議会議員 埼玉県知事	日本国民で年齢満18歳以上の者で、引き続き3か月以上県内のいづれかの市町村に住所を有する者
伊奈町議会議員 伊奈町長	日本国民で年齢満18歳以上の者で、引き続き3か月以上伊奈町に住所を有する者
住民投票制度	投票権者
の法律に基づくも 国民投票（日本国憲法の改正手続） 有権者の総数の3分の1以上の連署による議会の解散、議員・長の解雇の請求があった際（リコール請求）	日本国民で年齢満18歳以上の者 日本国民で年齢満18歳以上の者で、引き続き3か月以上区域内に住所を有する者
かないもの 法律に基づく 根拠：条例、要綱など 発議者：住民（一定数の署名）、議会、長、その他の執行機関 投票手続、投票運動：条例	選挙権を有する者に限る ※条例により未成年者、区域外に住所を有する者、在留外国人を対象とする場合もあり

各地で投票のミスが報告された今回の衆院選。町選挙管理委員会では、これまで投票制度において問題が発生した事はないが、事務従事者や投票立会人への人員確保が課題

# 個人の一票が守られることが大事



清風クラブ  
たかはし  
**高橋まゆみ** 議員

**問** 投票時の本人確認はどうしているか。

**答** 期日前投票では、入場券の裏面、不所持の方は宣誓書兼請求書に必要事項を記入してもらい、係が操作するパソコンに登録されてある選挙人名簿と照合

**問** 顔写真付き身分証を求めない理由は、

**答** し、その後呼称する。投票日は入場券裏面への記入は不要だが、あとは期日前投票と同様。顔写真付き身分証を求めない理由は、総務省の通知に基づき、本人確認作業を徹底した上で顔写真付

**問** 顔写真付き身分証を求めない理由は、

**答** き身分証を求めることなく投票用紙を交付できることとされている。ただし、同通知により、投票期日に入場券不所持の方には、再発行手続きの際に顔写真付き身分証の提示を求めることとされている。

**問** 災害時の衛生環境維持

**答** トイレの調達等に関する民間事業者との連携はどうか。

**問** 平常時のごみの出し方が、災害時に避難所の衛生環境にも影響する。更なる分別と減量の協力に町の施策は、

**答** 環境意識の向上を図るべく「広報いな」や、ごみ分別アプリ等が多くの方の目に留まるように工夫していく。

# 中小企業・小規模事業者の 賃上げ支援を



日本共産党  
ごみ まさみ  
**五味 雅美** 議員

**問** 膨大な内部留保がある大企業と違い、中小企業は価格転嫁も進まず厳しい経営で、企業責任では賃上げは進まない。イギリス、ドイツ、フランスの最低賃金は日本の倍以上。アメリカ、フランスは

日本と桁違いの中小企業への賃上げ支援を行っている。「失われた30年、成長の止まった国、賃金の上がない国」は政治の責任であり、国が怠っている中で岩手県・徳島県などが直接支援や補助を行っている

## 最低賃金・賃金引上げに向けた 中小企業・小規模事業者への支援施策

<p><b>1. 賃金引上げに関する支援</b></p> <p><b>① 業務改善助成金</b></p> <p>問い合わせ先 ・業務改善助成金コールセンター 0120-365-444（平日9時～17時） ・経営改善の勉強会等（県庁、庁舎）</p> <p>事業場内で働く社員、社員の（事業場が賃金引上げを決定した上で賃金引上げを実施する）労働者（労働協約の締結、人材育成、経営改善の勉強会等によるコンプライアンス）を行う中小企業・小規模事業者に対し、その賃金引上げに使用した経費を支援する。一つの事業場を単位とする。最低賃金引上げと賃金引上げの両方を受けられる。</p>	<p><b>② キャリアアップ助成金</b></p> <p>問い合わせ先 ・生涯学習課 ・生涯学習課（生涯学習センター）</p> <p>有期雇用の労働者、短時間労働者、派遣労働者といった労働者に対する賃金引上げの支援としてキャリアアップ助成金を活用するため、正社員転換、賃金引上げ等の経済効果の促進を実現した事業場に対して助成します。なお、キャリアアップ助成金については、事業場が対象となる労働者（正社員転換）の範囲や引上げの「賃金引上げ」を定めた労働協約の締結の有無が条件となります。</p>
<p><b>③ 中小企業向け賃上げ促進税制</b></p> <p>問い合わせ先 ・中小企業振興サポートセンター</p> <p>賃金引上げを実施している中小企業者が、一定の要件を満たした上で賃金引上げを行った場合、その期間中一定割合を法人税（個人事業主は所得税）から控除できる制度です。</p>	<p><b>④ 企業活力強化貸付（働き方改革推進支援資金）</b></p> <p>問い合わせ先 ・日本労働金庫岩手県支店 0120-154-505</p> <p>事業場内で働く最低賃金（事業場内最低賃金）の引上げに取り組む中小企業・小規模事業者が必要とする設備資金や運転資金を貸付制度で支援します。 （注）借入の上限、返済期間等は各借入条件により異なります。</p>
<p><b>⑤ 賃上げ貸付利率特別制度</b></p> <p>問い合わせ先 ・日本労働金庫岩手県支店 0120-154-505</p> <p>最低賃金引上げを実施している中小企業・小規模事業者に対して、借入後2年、利率を0.5%低減します。（※）借入の上限、返済期間等は各借入条件により異なります。</p>	

国の賃上げ支援メニュー（出典：厚生労働省）最低賃金引上げは中小企業支援がセットでなければならない。賃上げと労働時間短縮は社会が健全に発展する要



録画 ↓

# 「18歳の壁」と就労



日本共産党  
おおさわ じゅん  
**大沢 淳** 議員

**問** 障害福祉計画策定に向けた保護者アンケートで、サービス利用時間と就労の関係などの困りごとを把握する項目を設け、実態把握に努めるべきでは。

**答** そのような差が生じないようには重要なことである。家族に障害があるかどうかで、就労継続の機会に差が生じないことが必要。町の基本認識は。



町内に新しくできた生活介護事業所

**問** 生活介護事業所で把握していきたい。

**答** 計画策定アンケートで把握していきたい。

**問** 家族に障害があるかどうかで、就労継続の機会に差が生じないことが必要。町の基本認識は。

**答** そのような差が生じないようには重要なことである。

**問** 生活介護事業所で把握していきたい。

**答** 計画策定アンケートで把握していきたい。



録画 ↓

**問** 「まっぼっくり」のサービス提供時間の延長をすべきではないか。

**答** 延長に向け協議を重ねる。町内の生活介護事業所にも働きかけしていく。

**問** 手話通訳体制の前進へ

**答** 上尾市の手話通訳者認定試験を、伊奈町在住の広域講習会受講者も受験できるように要件見直しを働きかけるべきではないか。

**問** 町内在住者も受験できるように上尾市に働きかけたい。

**答** 消防は上尾市・伊奈町で広域化している。上尾市では救急時に手話通訳を依頼できるように伊奈町ではできないのは矛盾。手話通訳派遣の広域化で解消すべきでは。

**問** 課題を整理し、上尾市と協議したい。

## 田んぼ埋立てで景観、

## 内水氾濫への影響は



日本共産党  
おおの こういち  
**大野 興一** 議員

**問** 田んぼを埋立てしている所があるが目的は何か。

**答** 水はけが悪く地盤が緩く、農業機械が沈んで耕作者は水田としての利用に苦慮した。埋め立てて、畑へ転換する耕作条件の改善で、

農業法人が麦を耕作する。

**問** 田んぼの貯留機能の減少は。

**答** 貯留機能は減少するが、畑は雨水の浸透能力を確保でき、しかも畑へ転換する面積を必要最小限に抑えるの



田んぼを埋立て麦畑に転換される農地

で、下流の住宅街への影響は少ない。

**問** 住宅街の内水氾濫は増加しないか。

**答** 県「農地改良等の取扱いに関する要綱」で農地改良等を行う者は、農地改良等により

道路や用排水路の分断、機能の低下等を起こさないために、隣接道路及び隣地との間に素掘側溝を設置する等の対策を講じることになっている。

### 訪問介護事業者

**問** 現状はどうか。

**答** 倒産件数は過去3年間で1件だ。

**問** 小規模経営者への経営支援は。

**答** 国の交付金を活用した価格高騰等の緊急支援事業を実施してきた。今後も支援していく。

## 0歳から2歳児の保育料無償化を



改新みらい  
とみい あつや  
**富井 篤弥** 議員

**問** 0〜2歳児の保育料無償化が実現できていない背景や理由は。

**答** 公立・私立の両保育施設においても、新たな保育士の確保について課題となっている。このような状況の中、無償化を実施すると、

現状より保育ニーズが高まり、待機児童の増加が予測される。また財政的な課題もあるため、実施していない。

**問** この答弁について、町内には表面化していない保育需要があると町は認識しているのか。

町内には表面化していない保育需要があると町は認識しているのか。

**答** 入所条件が変更となった場合、保育需要の更なる増加や、保育を断念していた保護者が利用したい等の可能性はあると捉えている。

**問** 町は、0〜2歳児の保育料について、無償化や一部無償化の研究・検討を今後する考えはあるか。

**答** 国や県、近隣自治体の動向を注視し、調査・研究していきたい。

**問** エアコンが整備されている町の避難所は。

**答** 栄北高校及び国際学院高校の2校である。

**問** エアコンがある避難所に要配慮者を優先的に受入れられるよう、優先順位を地域防災計画等に盛り込む考えは。

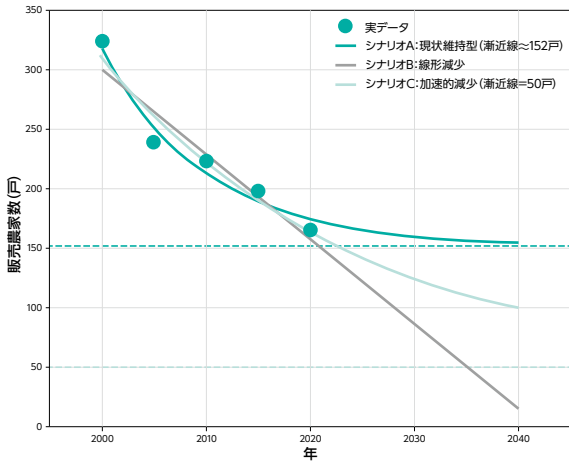
**答** 国の法律や県の防災計画にも明記がないため難しい。

### 町内の指定避難所における空調設備の整備状況と今後の予定

指定避難所名	避難所のエアコンの有無など
小針中学校	令和10年度迄にエアコン整備予定。
小針小学校	令和10年度迄にエアコン整備予定。
小針北小学校	令和10年度迄にエアコン整備予定。スポットクーラー2台あり。
伊奈学園高校	令和15年度迄にエアコン整備予定。
けんかつ	なし（導入予定なし）
小室小学校	令和10年度迄にエアコン整備予定。
伊奈中学校	令和10年度迄にエアコン整備予定。
国際学院高校	エアコンあり。電源自立型空調で停電時も72時間の使用が可能。
日本薬科大学	なし（導入予定なし）
南中学校	令和10年度迄にエアコン整備予定。
南小学校	令和10年度迄にエアコン整備予定。
栄北高校	エアコンあり。停電時は使用不可。
ゆめくる	なし。スポットクーラー3台あり。

※スポットクーラーについては、小針北小学校2台、ゆめくる3台、水道庁舎2台、ウニコス伊奈2台の計9台あり。可搬式のため、必要な箇所へ配置可能  
本資料は一般質問の町の答弁より富井作成(令和8年3月11日時点)

伊奈町販売農家数の将来予測  
(都市近郊ベッドタウンにおける3つのシナリオ)



このままでは、町の販売農家は激減の予想が  
(川内作成)

町農業の継続と、

ゴミの3Rとゴミ処理



川内 雅人 議員

かわうち まさと

農業の継続について

問 今年度の新規就農者数と年代は。

答 今年1月末現在の新規就農者は、60代の方が1名、50代の方が1名だ。

問 地目ごとの遊休農地面積は。

答 今年1月末現在、田が約17・31ha、畑が約2・62haだ。

問 遊休農地は減少傾向だが、その理由は。

答 農地の集約や田畑転換などで、農地の活用が進んだためだ。

問 農業体験を提供する

る経営体の5年前との増減は。

答 1件増だ。

ゴミの3Rとゴミ処理について

問 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量の推移について町の考えは。

答 減少傾向であり、町民の分別意識向上のためと考えている。

問 町民への更なる周知が必要ではないか。

答 分別NG集など分かりやすい周知や、大口事業所等への個別訪問による啓発活動などにも取り組んでいく。

問 積極的に見学を促進してはどうか。

答 今後、研究する。再使用可能な家具などを手直ししての販売はどうか。

答 保管・作業場所等を設けることは困難なため、難しい。

県民活動総合センターの活用について



栗原 恵子 議員

楓政会

くりばら けいこ

問 県のあり方検討委員会では、県民活動総合センターの見直しが提言されているが、町としての見解は。

答 昨年9月に全議員からの要望を受け10月28日に町としての要望書を知事に提出した。

問 新たな活用方法についても検討する。

AYA世代在宅ターミナルケア支援の予算化

問 若年末期がん患者を対象とした在宅ターミナルケア支援が予算化されていない理由は。

答 対象者数の把握をしていない理由は、対象者数の把握をしていない理由は、財政的制約や優先順位などによって予算計上できなかつたものではない。

問 事業規模や町負担の見込み、令和8年度補正予算での実施や次年度予算での可能性は。

答 県人口動態統計を基に推計した町の対象者数は、年1〜2人であり、1人当たりの事業費は年間約96万円で県補助後の町負担は約48万円が見込まれる。令和8年度は対象者が生じた時点で速やかに協議し、次年度は予算計上の準備を進め、また、「サービス調整支援費用」の助成についても検討していく。



県民活動総合センターの宿泊棟は、毎年、特別支援学校が行う校外学習の場としても活用。障がい者対応のトイレや入浴室も完備されている

問 若年末期がん患者を対象とした在宅ターミナルケア支援が予算化されていない理由は。

答 対象者数の把握をしていない理由は、財政的制約や優先順位などによって予算計上できなかつたものではない。

問 事業規模や町負担の見込み、令和8年度補正予算での実施や次年度予算での可能性は。

答 県人口動態統計を基に推計した町の対象者数は、年1〜2人であり、1人当たりの事業費は年間約96万円で県補助後の町負担は約48万円が見込まれる。令和8年度は対象者が生じた時点で速やかに協議し、次年度は予算計上の準備を進め、また、「サービス調整支援費用」の助成についても検討していく。

# 産後ケアの充実と見守り体制の強化を



公明党  
とばりみつえ  
**戸張 光枝** 議員

**問** 乳幼児の安全確保に向けた今後の取組は。  
**答** 乳幼児突然死症候群の予防や事故防止に向け、国のガイドラインに基づく町の安全マニュアルを作成し、医療機関や助産所との連携を強化。体動モニタ

**問** 導入を希望する施設には、先進事例を調査し国の補助制度活用を含め助成を検討する。  
**答** 専門職の流出防止と処遇改善による定着へ  
**問** 保健師・保育士の人材流出実態と要因は。  
**答** 過去3年の退職は、

保健師が令和4年度1名、5年度0名、6年度0名。保育士は4年度0名、5年度1名、6年度2名。令和7年度は現時点で保健師3名が退職。

**問** 専門職の評価や処遇改善、人材定着への今後の取組は。  
**答** 今後は専門性の適切な評価方法について他自治体の事例を調査し、職員の意見を踏まえ人材確保と定着に向けた改善を検討する。

**問** 自転車青切符導入を踏まえ交通ルールの明確化と優しい配慮を。  
**答** 障害特性を有する方への配慮として、自転車に貼付できるヘルプマークシールを作成し周知と配布は。  
**問** 福祉部門と協議する。

**答** 福祉部門と協議する。



小さなかけがえない命を守る一助となる「呼吸器センサー」は保護者や保育士さんの安心を生みます

# 結局、実質の増税になるばらまき・無償化



幸福実現党  
やまの ともひこ  
**山野 智彦** 議員

**問** 子ども子育て支援制度の財源徴収制度から少子化・人口減少を反映させるための支え合う仕組みである。  
**問** 給付金ばらまきの財源を、なぜ公的保険から徴収するのか批判

**答** 公的医療保険からの財源徴収制度から少子化・人口減少を反映させるための支え合う仕組みである。  
**問** 給付金ばらまきの財源を、なぜ公的保険から徴収するのか批判

**答** 公的医療保険からの財源徴収制度から少子化・人口減少を反映させるための支え合う仕組みである。

**問** 国保、後期高齢者医療ともに所得に比して負担が重いことは認識している。引き続き国財政支援を要望する。  
**問** 少子化は加速状態。

**答** 国保、後期高齢者医療ともに所得に比して負担が重いことは認識している。引き続き国財政支援を要望する。

被用者保険 (協会けんぽ・健保組合・共済組合)		事業主分を含めた逸失収入/月	
年収	被保険者一人当たり(月額)		
200万円	192円	→	384円
400万円	384円	→	768円
600万円	575円	→	1,150円
800万円	767円	→	1,534円
1,000万円	959円	→	1,918円
国保 200万円	400円		
後期高齢 200万円	200円		

子ども・子育て支援金という徴収制度の実際の負担増加額(試算)。事業主負担も含めた逸失収入や、同じ年収200万円での国保との負担比較も注目(こども家庭庁「子ども・子育て支援金制度の医療保険制度ごとの年収別試算」より)

効果なきばらまき給付はやめるべきでは。

**問** 中止要望は難しい。  
**答** 町内買い物環境の改善

**問** スーパーの誘致は。  
**答** 対応しているが誘致には至っていない。

**問** 移動販売について、白岡市のように町PRで側面支援しては。  
**答** 様々な手段で一層周知していきたい。

**問** 駅周辺の土地活用を検討すべきでは。  
**答** 相談があれば柔軟前向きに対応する。

**問** 炭素素は曲がり角からの遠隔操作等、問題が多いが町の認識は。  
**答** 実情等を考慮し、現実的に進めていく。

**問** 事業用太陽光発電は届出等の規制がない。住民説明の徹底を。  
**答** 事業者に住民への情報提供を促していく。

**問** 事業用太陽光発電は届出等の規制がない。住民説明の徹底を。  
**答** 事業者に住民への情報提供を促していく。

**問** 事業用太陽光発電は届出等の規制がない。住民説明の徹底を。  
**答** 事業者に住民への情報提供を促していく。

**問** 事業用太陽光発電は届出等の規制がない。住民説明の徹底を。  
**答** 事業者に住民への情報提供を促していく。

**問** 事業用太陽光発電は届出等の規制がない。住民説明の徹底を。  
**答** 事業者に住民への情報提供を促していく。

## 町民の心配事を質す



## 防災対策について



武藤 倫雄 議員

福政会

むとう りんお

### 今後の財政負担は

**問** 役場新庁舎と新ごみ広域処理施設建設で地方債（借入金）の財政負担額はどうか。

**答** 現時点で予定している償還期間で算出すると1年あたり9億2000万円、更に金

利負担がある。

**問** 今後の財政計画と財源確保はどうか。

**答** 住民サービスや重点施策に支障がでることなく適切に財政運営をしていくため、徹底した事務事業の見直しや事業のスクラップ、

経費節減等を進め一層の支出抑制に努める。また、引き続き町税収納率の向上、ふるさと

収入の拡大、受益者負担の見直しや産業振興の推進等による財源確保に努める。

**他自治体では混乱も招いている「土葬」は**

**問** 当町の埋葬許可証の許可要件はどうか。

**答** 死体火葬許可証に火葬済みの印が押されることにより「埋葬許可証」になる。今後は伊奈町が既に運用している新たな統一様式が全国で使われる。

**問** 町内の墓地や霊園で現在土葬を受け入れるところはありますか。

**答** 墓地の経営許可を取得している団体に確認したところ、土葬を受け入れる団体はない。



青木 久男 議員

立憲民主党

あおき ひさお

### 問

1月の能登半島地震を受けて2024年6月に国の防災基本計画が修正された。

主な修正項目の一つで、町防災計画に大いに関連すると思われるものに避難所以外で避難生活を送る避難者の

支援があるが、町ではどのような対策が必要になると考えるか。

**答** 避難者の事情や状況に応じて、高齢者等止むを得ず車中泊や在宅避難をする方への対応を想定し、物資等の受け取りがしやすい場

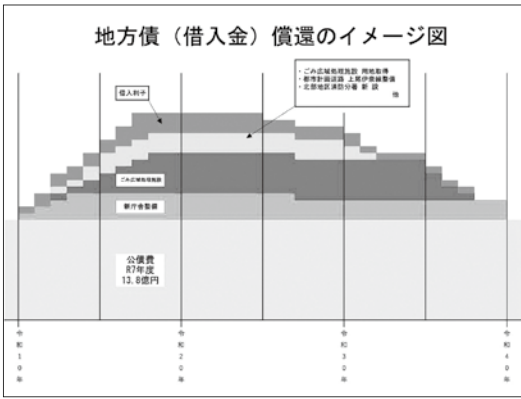
所に支援の拠点を設置することが必要となる。

### 町総合防災訓練について

**問** 去る1月実施の南部地区対象の防災訓練では避難所での災害時特設公衆電話の設置訓練がなされたが内容を伺う。

**答** 今年度、新たな取組として実施した。この電話は通信制限を受けにくい通信回線で、災害発生時において通信手段確保のため、被災者等が無料で使用できる電話となる。

当日は、避難所担当職員がこの電話を設置し、訓練参加者が実際に電話を使用して、家族へ安否確認をするなどの訓練となった。



50年に一度のような建設工事が今後並行して進む(武藤作成)

# 介護業界の人手不足解消へ



公明党  
木俣 美千代 議員

**問** 介護施設で資格を必要としない業務を担っている現状は。

**答** 食事の準備、配膳、清掃、話し相手など多種多様を担っている。

**問** 業務軽減の観点から、無資格者による補助的業務の担い手確保

をどのように捉えているか。

**答** 介護現場において活躍が期待され、確保は需要が高まると捉えている。

**問** 有償ボランティアマッチングサービスの現状



資格がなくてもできる配膳作業



録画

場をつなぐ事業の説明会の開催は。

**答** 現時点では予定していないが研究する。

**不登校児童生徒の健康支援**

**問** 医療機関で健康診断を受診する費用の助成制度の見解は。

**答** 情報収集に努める。

**高次脳機能障害者・障害児の町の支援体制**

**問** 町の周知・理解促進は。

**答** 窓口にチラシを設置。町広報誌などを活用した周知と理解促進を図る準備を進めている。令和8年度策定の福祉計画等に位置付ける。

**高次脳機能障害児の進学・就労支援は。**

**答** 関係機関と更なる連携を図り、社会から孤立することないように支援体制を強化する。

支援体制を強化する。

# 伊奈町の防犯対策



新政伊奈  
藤原 義春 議員

**問** エアコンの室外機の窃盗対策は。

**答** 門扉等の施錠の徹底、ワイヤー錠での固定、防犯カメラやセンサーライトの設置が効果的。「伊奈町集会所整備費補助金」を備品購入に活用できる。

**空き巣対策**

**問** 栄南区で空き巣が入ったが、対策は。

**答** 青色パトロールによる防犯パトロールを各区に展開し、安心安全ステーションや自主防犯組織の活動支援を行う。

防犯カメラ等購入費補助事業

**問** 町民が防犯カメラを取り付けた場合、補助金を出すことも検討しているかどうか。

**答** 物価高騰の影響を受けた生活者に対して、家庭用防犯カメラ等の購入・設置費用の一部を補助する。5月の大型連休以降の申請受付開始を予定し、補助対象は防犯カメラに加えて、防犯フィルム、人感センサーライト等の防犯対策に資するものを予定し、補助率は2分の1、補助金額は5千円を上限とする。

**問** 町の重要箇所

に防犯カメラを取り付け、防犯に役立てては。

**答** ニューシャトルの町内各駅、小学校の通学路に街頭防犯カメラを設置している。

設置している。

設置している。



狙われた集会所のエアコンの室外機



録画

# 会派による政務活動報告

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で他の自治体の取り組みを視察調査しています。

## 町民生活を支える行田浄水場と大久保浄水場

視察日 令和8年1月28日

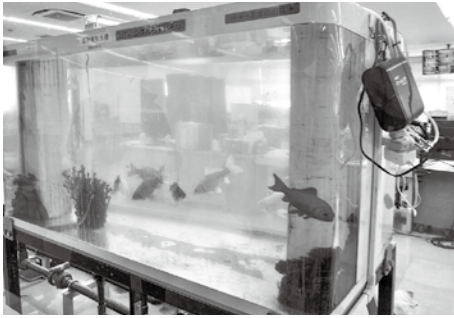
視察地 埼玉県大久保浄水場・行田浄水場  
会 派 清風クラブ、颯政会、改新みらい

昨年12月16日に埼玉県大久保浄水場で臭素酸が検出されたことを受け、県営水道の安全対策や現場の管理体制を伺うため、同浄水場と行田浄水場を訪問しました。両浄水場は、伊奈町にも浄水を供給しており、私たちの住民生活や経済活動を支えています。

大久保浄水場では凝集・沈殿・ろ過・消毒といった多段階処理と常時水質監視で安全を確保しています。また、オゾン処理と生物活性炭処理による高度浄水処理施設の整備が現在進められており、今後

は更に安全性の高い良質な水の供給が図られる予定です。行田浄水場においても、複数の処理工程と厳格な水質検査体制のもと、安定的かつ安全な水の供給に取り組んでいる状況を確認しました。

視察を通じ、水道インフラは日常生活を支える基盤であり、その維持管理と適切な更新が将来にわたる安全・安心につながることを改めて認識しました。



▶大久保浄水場で水質の安全性を検査する金魚



▶行田浄水場の薬品沈下池

## 議会改革実現のために

視察日 令和8年2月4日・5日

視察地 神奈川県大磯町議会、関東学院大学  
会 派 新政伊奈、幸福実現党、日本維新の会、無会派

温故知新、議会の伝統を大切にしつつ、生々流転、常に変わり続ける社会情勢に対応するためには、議会改革が必要です。

今回の視察では、議会改革の先進事例である大磯町議会を視察し、関東学院大学の津軽石教授を訪ね、学びました。

大磯町議会では、常任委員会会議録の公開、本会議一般質問でのパワーポイント活用、オンライン議会報告会など多くの学びがありました。特に感銘を受けたのは、常任委員会2年間のテーマを決め継続して調査研究し、最終的には政策提言や

条例制定につなげていくことです。

翌日は関東学院大学で津軽石教授から、政策法務と議員提案条例に関して、具体的かつ実践的な講義を受けました。今回の視察研修で学んだことをさらに深めることで議員による政策提言能力を高め、一層住みやすい町づくりにつなげていきます。



大磯町議会議場で視察後、横浜の関東学院大学で講義を受講

# 文教民生常任委員会視察報告

先進地の事例に学ぶ

## 指定避難所として、地域住民への貢献を目指す 国際学院中学校高等学校

視察地 町内 国際学院中学校高等学校

視察日 令和8年1月29日

### 災害対応型電源自立ガス空調システムの導入

国際学院中学校高等学校では、経済産業省の「災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金」を活用し、令和7年12月に同校体育館のMAKOTO HALL・トレーニングルーム・男女両更衣室へ、空気清浄機能を備えた合計22台の空調設備を設置しました。

同校の屋外には電源自立型室外機が5台と、980kgのLPガス災害バルク貯槽供給設備2基が設置されています。停電時でも内蔵バッテリーにより自動稼働する仕組み（空調+

非常用電源使用可能で、3日間・72時間以上の自立運転が可能とのこととです。また、ガスヒートポンプ空調には電力デマンドの抑制によるランニングコストの低減も期待されるそうです。生徒の熱中症対策をはじめ、避難所として地域住民への貢献を見据えた設備であるとの説明がありました。



▶ 体育館における空調設備



▶ LPガス災害バルク貯槽 (写真奥)

## 新庁舎建設特別委員会

伊奈町議会の新庁舎建設特別委員会では、新庁舎整備事業の進捗状況や契約、今後の工事スケジュールなどについて報告と質疑が行われました。

まず、令和7年12月の視察や設計意図伝達会、令和8年1月の起工式、2月からの建築工事開始など、これまでの主な進捗が説明されました。

事業費についてはインフレスライド条項適用により約2億7700万円増額され、総額は約63億7000万円となる仮契約が令和8年2月6日に締結されました。また、現在の支出進捗率は約9・3%と報告されました。工事はく

い打ちや基礎工事を経て進められ、令和9年8月末の建物完成を予定しているなどの説明がありました。

**問** 今後のインフレスライドによる金額増の可能性は。

**答** 極力工事を前倒しすることで、影響を最小化する方向で検討する。

**問** 町民への進捗情報の発信方法は。

**答** ホームページや現地掲示などで進捗の周知を図る。

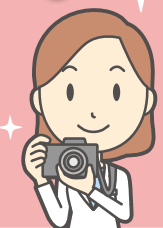
**問** 地元企業の活用状況は。

**答** 工事費の一定額は地元企業を活用する契約だが、その進捗状況を議会毎に公表する。



本格的に開始した庁舎建設工事

# 伊奈町議会だより 表紙写真募集中!



あなたが撮影したお写真が表紙に!

「伊奈町議会だより」の表紙に皆さまからの写真を募集しております。

応募規定などの詳細は、下記の二次元コードを読み取り、ご確認ください。

ご応募お待ちしております!

★採用された方にトートバッグを進呈させていただきます。



## 募集内容

伊奈町内で撮影された写真、もしくは伊奈町に関連する写真。写真は、行事、風景、その他季節に合うものを募集します。

## 応募資格

伊奈町在住、在勤または在学の方

## 応募規定

おおむね2年以内に撮影された未発表の写真で、1回につき2枚まで応募できます。

※人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けてください。

## 応募期間

いつでも募集しております。



次回  
定例会

# 6月4日(木) 開催予定です



## 議会を傍聴してみませんか



(ネット中継)

傍聴は簡単です。ご覧になりたい議会がある日に議会事務局へお越しいただき、簡単な手続きで傍聴できます。日程や詳細は、伊奈町議会ウェブサイトをご覧ください。

また、インターネットでも中継や録画をご視聴いただけます。

## 表彰



佐藤 弘一 議員

埼玉県町村議会議長会から議員として20年以上、議長として3年以上在籍したことにより佐藤弘一議員が自治功労賞を受賞されました。

# 議会クイズ

クロスワードクイズ  
第64弾です。

1 <b>A</b>		2		3
6	4		5	
			7 <b>B</b>	<b>C</b>
8 <b>D</b>	<b>E</b>			

## タテのカギ

- 1 埼玉県の昔の呼び名。  
○○○の国
- 2 去年4月1日から施行された「伊奈町まち○○基本条例」
- 3 男性も育児に参加しましょう
- 4 新ごみ処理施設の建設費約600億には、○○○が飛び出しました！
- 5 忙しい時に禁物なもの

## ヨコのカギ

- 1 財政が潤沢ではない今、

## 読者の声

一部掲載

- 6 乾燥した日が続く今、せめて欲しい天気。
- 7 一、十、百、○○
- 8 食べ物などをうずたかく積み上げること

## 問題

ABCDEの順に並べた言葉は何でしょうか。

## 答えのヒント

さくらまつりと言え。

## 応募方法

★はがきに答え、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、〒362-8517

伊奈町中央四丁目355番地

議会広報委員会

までお送りいただくか、二次元コード(伊奈町電子申請・届出サービス)↓「議会クイズ」から応募ください。



「議会クイズ」QR

## 前回の答え

答え「ロウブシヨ」

応募総数 61名  
正解者 61名

なお、本誌へのご意見やご感想などありましたら、あわせてお寄せください。

☆締切 5月31日(当日消印まで有効)

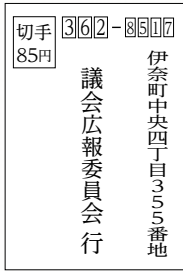
正解者の中から抽選で5名の方にトートバッグを差し上げます。

※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



※色は選べません

「ローズちゃんローズくんのトートバッグ」



(おもて)

答え(例) **A** **B** **C** **D** **E**  
郵便番号・住所  
氏名・年齢  
電話番号  
ご意見・感想など(あれば)

(うら)

## 編集後記

春のやわらかな陽ざしとともに、新年度が始まりました。4月は新しい環境に一步を踏み出す季節でもあります。

本号では、3月定例会の内容や予算審議の概要をお伝えしています。議会の活動を少しでも身近に感じていただき、町政への関心を深めていただければ幸いです。

新年度が皆さまにとって実り多い一年となりますよう心より願っております。

(川内雅人)

かりやすいです。(40代)

◆当選者の発表で自分の名前が載っているか確認するのが、楽しみでした。これも時代の流れでしょうが、ちょっと残念です。(40代)

◆とてもいい難易度で悩むときもありますが、わかった時は嬉しいです。(10代)

◆勉強になるので、小学生でも分かりやすい議会の言葉も入れてもらえる嬉しいです。(10代)

◆未来ある子どもたちのために、良い町になってほしい。(50代)

◆トートバッグを持ってバラ園を散歩したいです。(30代)

◆議会クイズ、はじめて挑戦しました。子供と一緒にやって楽しいひとときでした。(40代)

◆議会クイズを彼氏と一緒にやっており、話あいながらできて充実した時間になっております。(20代)

◆議員さん1人1人のことがわかって良いと思います。(60代)



## 議会広報委員会

- 委員長 高橋まゆみ
- 副委員長 富井 篤弥
- 委員 五味 雅美
- 委員 藤原 義春
- 委員 栗原 恵子
- 委員 山野 智彦
- 委員 木俣美千代
- 委員 川内 雅人
- 委員 仲島 雄大



読みやすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。

★議会だよりは再生紙を使用しています。



植物油インキを使用しています。



「伊奈町議会だより」もマチイロで配布中